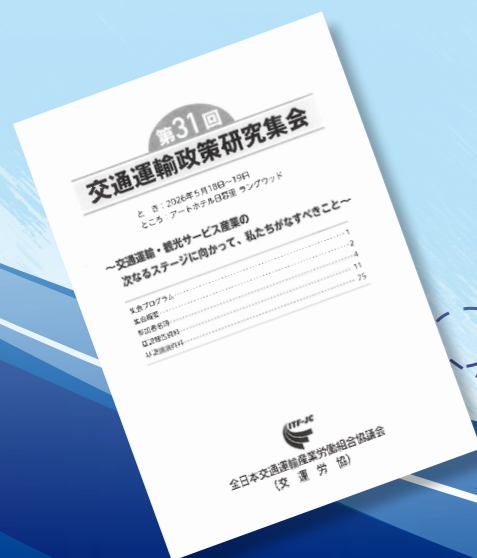


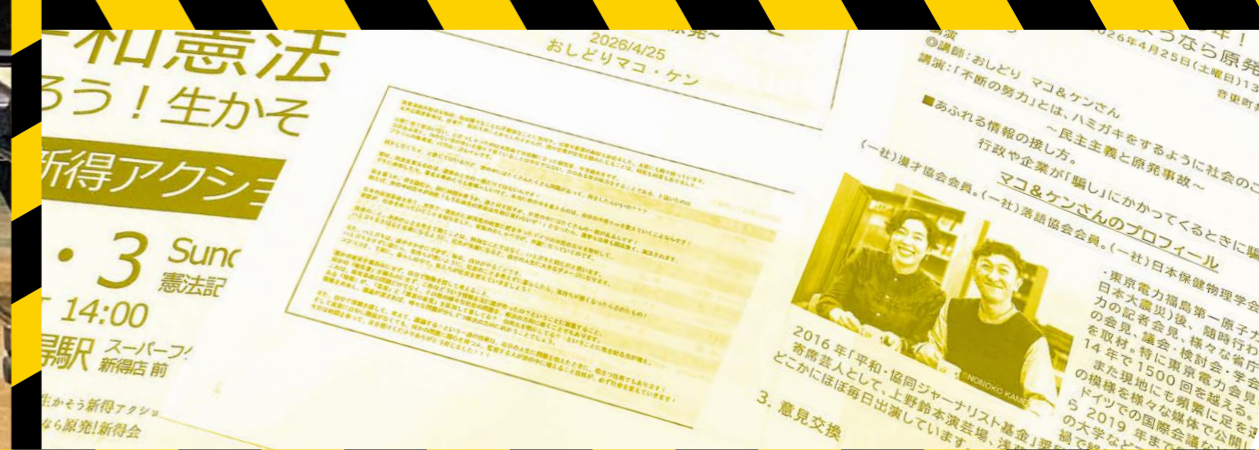
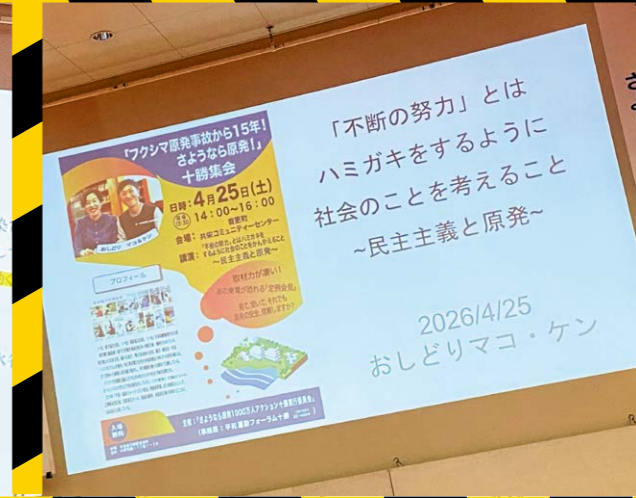
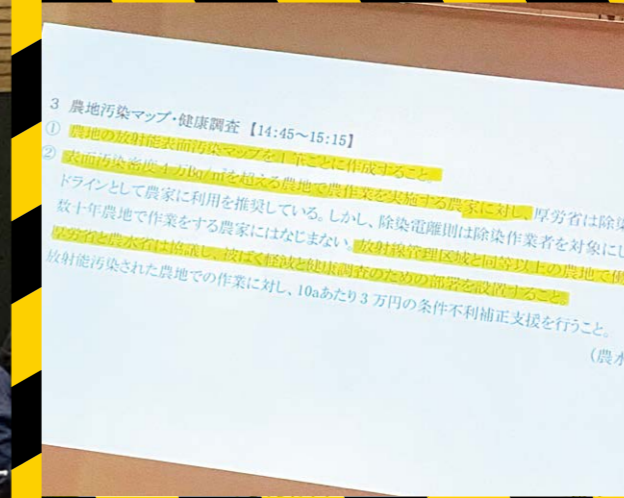
# 交運労協 第31回 交通運輸政策研究集会 開催

第31回交通運輸政策研究集会が2026年5月18日～19日、交運労協の仲間172名が集まり、ホテル日暮里ラングウッドで開催されました。交通運輸観光サービスの現場には、未だ最低賃金水準で働いている仲間が厳然として存在します。総合物流政策大綱に盛り込まれた各種政策を進めるにあたり、こうした現場の仲間を「絶対に置いていかない」という強い決意のもと、交運労協で結束する仲間が互いに連携し、それぞれの役割を果たしていくことが重要であると思う。今後とも、交運労協の総力を挙げて団結して前進していきたい。

関東地方横浜支部 石原 茂治



LOCAL  
北海道



フクシマ原発事故から15年!

さようなら原発!

4月25日に北海道十勝の音更町共栄コミュニティセンターにて、「フクシマ原発事故から15年! さようなら原発!」十勝集会が開催され、北海道十勝平和運動フォーラムを中心に友誼団体も含む80名ほどが参集し、釧路支部からも6名で参加しました。「不断の努力」とは、ハミガキをするように社会のことを考えること~民主主義と原発事故~という題目のもと、芸人活動を行いながら東京電力福島第一原子力発電所事故(東日本大震災)後、随時行われている東京電力の記者会見、様々な省庁、地方自治体の会見、議会・検討会・学会・シンポジウム取材している、おしどりマコ&ケンさんが講師として、報道されていない原発事故の内容やその後の放射能汚染実態などについての講演がありました。その後は、講演参加者からの質疑や意見交換を行い、終了しました。テレビなどの報道では、復興した部分のみが映されることがほとんどですが、現在も帰還困難区域があることや農家の方々に対する風評被害など、まだまだ問題が山積していることがこの講演で改めて感じる事ができました。東日本大震災から15年が経ちましたが、風化させることなく、今後も共闘を含めて積極的に集会へ参加していきたいと思ひます。

北海道地方釧路支部 書記長 川奈部 若之